

## 1. 園の教育目標

- ・安心感・信頼感を育て、自信や意欲を持って生活や活動ができるようにする
- ・基本的な生活習慣を身に付ける
- ・遊びや運動を通して基本的な運動機能を獲得する
- ・日常生活の中で自分の思いを言葉に変えて相手に伝える力を育む
- ・様々な体験を通して豊かな感性を育て創造性の芽生えを培う

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・幼保連携型認定こども園として、子ども一人ひとりの年齢や発達を捉え、保育・教育の全体的な計画を立案し、基本的な生活習慣を身に付けるために保護者と共通理解を図る。
- ・保護者が安心して園に預けられるよう、子どもの育ちが共有でき、日常生活や遊びを知って頂くために保育の可視化を工夫する。
- ・保護者の就労支援を行うため、0歳児の年度途中の受け入れを積極的に行う。

## 2. 施設関係者評価委員会の総評

令和3年2月9日に評価委員同席のもと公開保育を行い、設関係者評価をお願いした

本園は280名を超える園児が在籍し、年度途中においても育児休業等により保育を必要とする子どもの受け入れを積極的に行うなど、地域社会への高い貢献が伺える。

また多数の園児を保育するにあたり、個別的で丁寧な保育を目標とした施設の整備がなされ、それぞれの保育室の環境の充実に向けて取り組みを複数年に亘り継続していることに敬意を表したい。

公開保育においても、一人ひとりの関心や発達に沿う環境の中で、子どもが伸び伸びと過ごす姿が随所にみられた。

また新型コロナウイルス流行の影響により、日常の保育が保護者にも見えづらくなる状況下において、子どもたちが日常的に創り出したものがさりげなく飾られていたり、ドキュメンテーションの作成など保育を可視化する取り組みを今年度工夫してすすめていることが垣間見えた。ドキュメンテーション作成の過程で、子どものどのような姿を捉えるか、一人ひとりの姿をどのように記録に反映するか、またドキュメンテーションの作成過程そのものが、保育者が日頃の保育を振り返り、語り合い、より深い子ども理解や保育のさらなる工夫へつながるものであることから、今後さらなる工夫と充実を期待したい。

また園の自己評価でも課題とされているように、多数の子どもを個別的に保育しようとする上で、活動の移行時（遊びから集団活動、保育する場所の移動、着替えなど）を含め、全ての年齢において1日を通して個別的に関わることができる機会と時間をより一層増やすことができるように、保育の見直しと検討をすすめられることを併せて期待したい。

### 3. 本年度重点的に取り組む目標（評価項目）と自己評価及び取り組み状況

	目標・取組内容（評価項目）	評価	取組状況
1	自己肯定感を育む為に0歳～2歳において、食事・排泄・睡眠は一人ひとり丁寧に関わる	B	職員が多いため一人ひとりのやり方になると子どもが戸惑うためそれぞれ手順書を作り、子どもが安心して生活できるように関わり方を同じにしているが、保育者の差が少し見られるので手順書の見直しを行いながらできるだけ同じ関りができるようにしていきたい
2	園庭や保育室の遊びの環境は子ども一人ひとりが思う存分遊ぶことができる環境を作る	A	園庭ではあそびが思う存分楽しめるようにできる限りあそびを止めないようにしている。室内では子ども一人ひとりが充実した遊びができるよう年齢・発達・興味関心を子どものつぶやきを聞きながら、年に数回は玩具や環境の見直しを行っている。
3	保護者が目に見えて園の取組や保育が分かるような工夫をする	B	園のあそびが学びに繋がっていることを、毎日の写真とコメントして保護者に発信できるようになってきているが、作成する保育者によって差が見られるので園内研修の場を設け職員の質の向上に努めていきたい。
4	コロナウイルス渦の中で行事の見直しをしながら、特に5歳児の子ども達が様々な体験や経験ができるような工夫をする	A	コロナ渦の中で職員が知恵を絞って、今までしてきた行事内容が子ども達に必要かどうか等見直しをすることができた。また、5歳児にはいちご狩りや昨年作った味噌を使って味噌玉づくり等様々な経験や体験をすることができた。

### 4. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や個々の発達に応じて一人ひとりの配慮をすることは勿論のこと、特に以上児になると子どもに対する保育者の配置が少なくなるため、集団で活動する時にどう個々の配慮を行い子ども達の不安を除くことができるのかが課題である。フリー保育教諭を配置しながら対応できるようにしていきたい。また、小学校の接続がスムーズにいくよう集団活動も大切にしていきたい。</li> <li>・ドキュメンテーションに書く記事が保育教諭によって差がないようお互いのドキュメンテーションを学びにできるよう時間を取るなど工夫をしたい</li> <li>・0歳児の年度途中の受け入れをするために職員の確保に力を注ぎたい</li> </ul>
--